

# 2月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年2月末現在〕

令和2年3月12日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで悪化した。

製造業・非製造業ともに「景況」「売上高」「収益状況」は全てで悪化した。新型コロナウイルスの影響により製造業では部品の調達に支障が生じた。非製造業では商品の品薄やイベントの中止等を要因とし指標DIは全てで悪化した。

## 景況DI

製造業は、前月比19.2ポイント悪化の-50.0ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の-50.0ポイント、全体では、前月比22.0ポイント悪化の-50.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比42.4ポイント悪化の-46.2ポイント、非製造業は、前月比41.7ポイント悪化の-50.0ポイント、全体では、前月比42.0ポイント悪化の-48.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比11.5ポイント悪化の-42.3ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の-37.5ポイント、全体では、前月比18.0ポイント悪化の-40.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	2月27日に政府が小中高の休校要請を行ったことにより、3月の学校給食パンの売上が全く見込めなくなった。あまりに拙速な発表に学校はもちろん我々組合としても大打撃だ。県内でも政府の要請通りに休校に応じていない自治体もあるがごく一部に過ぎず、大多数の自治体は政府の要請通りに休校している。
	餡	
	味噌	新型コロナウイルスの影響により、今後更に需要の停滞が予想される。
	酒	○県内当業界の課税移出数量・業界全体の現状 当県1月の清酒課税移出数量は、昨年10月の消費税増税後から大幅な減少が続き、清酒全体で対前年同月比92.5%であった。本格焼酎については、大手の蔵元の増加を反映し対前年同月比103.4%であった。ただし、高級清酒である吟醸酒は対前年同月比84.5%であったが、純米酒は対前年同月比106%と伸びており、種類によって消費量に差が生じた。清酒の輸出については、従来大口の輸出先であった韓国・中国（香港）の落ち込みが大きく、1月の輸出数量は対前年同月比79.3%と大幅に減少した。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスの感染拡大により、2月から3月のイベント中止や延期が多発する一方、大人数による酒席の自粛を打ち出す官公庁や企業が出てきている。当酒造業界においては、新酒が出回り売上が増加する時期に入るが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着かないと経営に多大な影響が出ると懸念を感じている。
	納豆	新型コロナウイルスの影響により納豆関係の売上は減少。水戸の梅まつりの来場者は前年の半数以下となり土産品は大変厳しい状況。一方で、納豆は大変身体によいと言われ、スーパー関係の売上は前年同月比約110%となっている業者もいる。人手不足は変わらず厳しい状況が続いている。
	菓子	新型コロナウイルスによりイベント関係や学校給食がなくなった。店舗の客足が鈍った。
繊維工業	織物	
	袋物	新型コロナウイルスの影響が出るのは、4月から後半から5月。例年仕事量が少なくなる時期ではあるが、今年は予想がしづらい。
	衣服	
木材・木製品	製材	・ 構造材・羽柄材とも全体的に停滞した動きとなった。 ・ 原木については、杉・桧小径木は変わらず少ない状況。 ・ プレカット工場の稼働状況は、低調な動きとなった。 ・ 輸入材は、構造材の荷動きが全体的に弱含みとなっている。なお、大手製材メーカーのストライキ、新型コロナウイルスの影響も重なり海外からの入荷状況がどれだけ木材への影響を及ぼすか懸念される。
	県北地区プレカット	今後新型コロナウイルスの影響が懸念される。住宅機器は中国生産のものが多いため、納期遅れが出てきている。
	県央地区プレカット	当月は加工予定の物件のずれ込みが多く、加工生産が大幅に落ち込んだ。見積物件も減少しているため、先行きの不透明感が増している。
紙・紙加工品	段ボール	新型コロナウイルスの影響により中国からの部品等が届かず、取引先で生産の一部縮小や製造ラインの変更等があったため、生産数量が減少している。新型コロナウイルスの影響が今後どのような形で日本経済に影響を落とすか心配される。組合員1社が2月末で廃業した。
印刷	総合	組合員の業況等に特段の変化はなかった。
化学・ゴム	自動車部品	新型コロナウイルスによる会社内の衛生管理及び従業員の健康管理を徹底している。現状では原材料の確保は問題ないが、今後は影響が徐々に出てくると思われる。
窯業・土石製品	県央地区石材	
	県西地区石材	
	コンクリート製品	共同販売の売上高は、上半期において前年度と比較して大きく下回っていたが、現時点では対前年度比95%まで回復した。台風19号の災害復旧工事発注による張ブロック等の河川用製品の供給増加が見込まれるが、工事発注・開札が2月に集中したため契約には至らず売上には反映していない。
	焼物	新型コロナウイルスの影響により来客数減少となりそれに伴い売上も減少している。笠間焼の祭典「笠間の陶炎祭」の開催も微妙な状況。早く終息してほしい。
	生コンクリート	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	鉄鋼・金属	鍍金 受注量は前年同月比10～20%程度減少。取引先のプレス業・板金業・挽物業全てにおいて前年同月と比較して受注量は減少した。また、中国からの部品が滞り、組み立てが遅れる得意先が出てきた。 金属材料は、亜鉛の値段が下落してきたが、その他は大きな変動はなかった。貴金属は値上がり傾向である。その他工業用薬品については大きな変動はない。 業界としての景気動向については、先行きの景気悪化が懸念される。	
	一般機器	精密機器	新型コロナウイルスの影響は現在のところ出ていないが、今後売上高が減少する可能性があるため、注意して見守っていく。
		工業団地	対象6組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比90%であった。得意先の海外製部品の調達円滑でなく、その影響を受け組合員各社の売上は対前年同月比10%減少となった。3月に入っても海外製部品の調達は不安定であり、組合員各社の受注は一層厳しいものが予想される。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	売上高は上昇傾向であるが、新型コロナウイルスの影響による諸問題と業界の冷え込みにより先行きはやや不安要素が多い。
		輸送車両	
	その他の製造業		
卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比5.74%増加となった。2月27日に突然小中高へ3月2日から臨時休校の要請があり、3月1日が休市日ということもあり、月末の売上が異常に伸びたため前年を上回った。学校が休みのため自宅待機になることから食品の確保が見込まれたため、量販店等の買上が伸びた。	
	県南地区卸	新型コロナウイルスの影響により売上高減少。特に日用品雑貨等の取扱い業者は商品在庫がなくなり売上は前月比1-2%減少。ティッシュ・トイレtpーパー等を発注しても7-10日間入荷ができない。	
	食品卸売業	当月は、野菜・果実合計で前年同月比96%の取扱高となった。前月までに続き、暖冬の影響でレタスやキャベツ等の出荷が順調となり安値が続いた。販売面では、新型コロナウイルスの感染拡大が需要の低下につながっていくのではないかと懸念される。	
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比99.3%と微減。相変わらず減少が続いており、当期の出荷は前年比約8%の減少が予想される。	
非製造業	県北地区共同店舗	全体の昨比は売上が103%、客数が109%だが、うるう年のため、ほぼ横這い。生鮮や総菜を中心とした食料品、飲食は昨年並みであったが、衣料品、雑貨は依然として厳しい状態が続いている。 新型コロナウイルスの影響で2月28日からのスポーツジムが休業となり来店客の減少に拍車をかけている。危機的状況が迫っている。	
	県央地区共同店舗	売上は前年同月比133%、客数は同113%。一部店舗の努力により前年同月の売上を確保できた。継続していきたい。	
	県南地区共同店舗	当月も異常な暖冬の影響か衣料品部門が大苦戦。毎年確定申告会場として当組合のスペースを提供しているため、集客が増えるので飲食・サービス部門が好調。文化品は催事効果で好調となった。 売上高は前年同月比で、全体104%、衣料81.6%、文化品132.9%、食料品91.8%、飲食107.8%、サービス105.4%となった。	
	クレジット		
	小売業	家電	新型コロナウイルスの影響により商売にならない。商品供給は中国から入らず、リフォーム関係も部材遅れが目立ち顧客に迷惑をかけている。 研修会等はすべて中止。今後いつまで経済の停滞が続くのか不安である。
	石油	原油価格は下落しているが、ガソリン販売価格は前年同月比では6円上昇。新型コロナウイルスの影響により物流が停滞気味のため、売上高は減少しており経営環境は厳しい状況が続いている。	
	農機具		
	中古自動車	売上は前年同月比97.8%、販売台数は同95.1%、販売価格は同102.9%であった。前年同月比で販売価格は上昇したが、販売台数が減少したため売上高は若干だが落ち込んだ。前月と同様に全国的に流通車が不足しており、厳しい仕入環境が続いている。	
	飲食品	新型コロナウイルスの影響により、売上・客数が減少。また、衛生関連の商品の品薄状態が続く、備蓄品や免疫力増加と噂される商品に需要が集中しメーカーからの供給がおぼつかない。早急な鎮静化が望まれるとともに今後の先行きを懸念している。	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
非 製 造 業	商店街	水戸	新型コロナウイルスの影響により売上減少。
		筑西	新型コロナウイルスの影響により宿泊・宴会のキャンセルが多数発生している。
	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は、前年同月比で普通車が91.9%、軽自動車が97.4%となり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
		ホテル・旅館	当月は例年通りであれば、県北臨海はあんこう鍋、県北山間では袋田の滝の水瀑、久慈川の氷花（シガ）目当ての観光客や合宿の大学生の宿泊があり、県央・県西では、水戸・つくばの観梅、鹿行のスポーツ合宿と入込実数があったものの、新型コロナウイルスの影響により、観光型施設の損失は図り切れない。雇用人員に関しては、減らさざるを得ない状況下であり、時間数は出勤日数の調整を図っている施設もある。
	建設業	総合	新型コロナウイルスについて作業員確保の影響は無いが、中国製を中心とする建設資材の確保が困難となっている。公共工事は3月竣工のため多くは確保済みだが、今後発注する製品には影響が生じると考えられる。
		電気工事	
		管工事	売上高は減少したが、原因は特になし。
		交通安全施設	
		鉄筋工事業	
	運輸業	貨物軽自動車運送	当月の組合員数は119名、車輛台数は149台で前月と比較して変化がなかった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,830名、車輛台数は9,285台で前月と比較して70名減少、90台減少であった。
県北地区一般貨物		主要顧客の動向について、出荷物量はやや低調となるが、売上高は輸送運賃改定の影響もあり横這い。燃料価格は新型コロナウイルスの影響が若干安くなったが、収益は依然厳しい。新型コロナウイルスの影響が特に来月以降は非常に心配である。	
その他の非製造業			

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	今回の学校休校措置による補償要望。
	酒	31年度の需要振興策として、地元（県内）消費に繋がる県内蔵元と連携した施策を要請。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
商店街	筑西	資金繰り・従業員の雇用に関してなど危機的状況である。
建設業	総合	輸入建材を中心に納期の予測がつかない製品が多い工事は柔軟性のある工期設定をお願いしたい。

月次景況調査 2月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比
景 況	▲ 50.0	▲ 28.0	▲ 22.0	▲ 50.0	▲ 30.8	▲ 19.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0
売 上 高	▲ 48.0	▲ 6.0	▲ 42.0	▲ 46.2	▲ 3.8	▲ 42.4	▲ 50.0	▲ 8.3	▲ 41.7
収 益 状 況	▲ 40.0	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 11.5	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 25.0
販 売 価 格	2.0	6.0	▲ 4.0	3.8	0.0	3.8	0.0	12.5	▲ 12.5
取 引 条 件	▲ 14.0	▲ 6.0	▲ 8.0	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0

# 中小企業月次景況調査(令和2年2月)DI値(前年同月比)

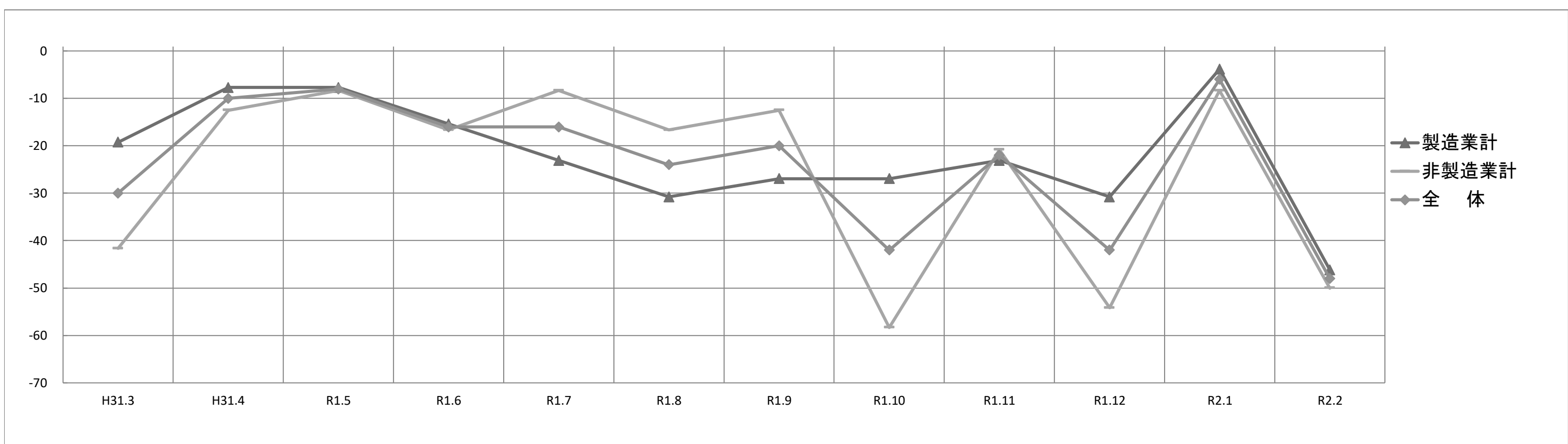
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況														
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)															
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数								
製造業	食料品	△ 50.0	0	3	3	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 50.0	0	3	3	6	
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	木材・木製品	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	
	窯業・土石製品	△ 40.0	1	1	3	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5	
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	
	一般機器	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	
	輸送機器	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	
製造業計	△ 46.2	2	10	14	26	△ 15.4	0	22	4	26	3.8	2	23	1	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 42.3	0	15	11	26	△ 26.9	0	19	7	26	△ 11.5	2	19	5	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 50.0	0	13	13	26		
非製造業	卸売業	△ 25.0	1	1	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4																
	小売業 (商店街含む)	△ 72.7	1	1	9	11	9.1	2	8	1	11	0.0	2	7	2	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 63.6	0	4	7	11	△ 45.5	0	6	5	11																
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2																	
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5																	
	運輸業	0.0	0	2	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2																	
	非製造業計	△ 50.0	2	8	14	24	0.0	2	11	2	15	0.0	4	16	4	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 37.5	0	15	9	24	△ 29.2	0	17	7	24																
全体	△ 48.0	4	18	28	50	△ 9.8	2	33	6	41	2.0	6	39	5	50	△ 14.0	0	43	7	50	△ 40.0	0	30	20	50	△ 28.0	0	36	14	50	△ 11.5	2	19	5	26	△ 16.0	1	40	9	50	△ 50.0	0	25	25	50		

## D I 値推移表 (H31.3月 ~ R2.2月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0
製造業計	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2
卸売業	▲ 75.0	25.0	▲ 50.0	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0
建設業	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 41.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0
全体	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0

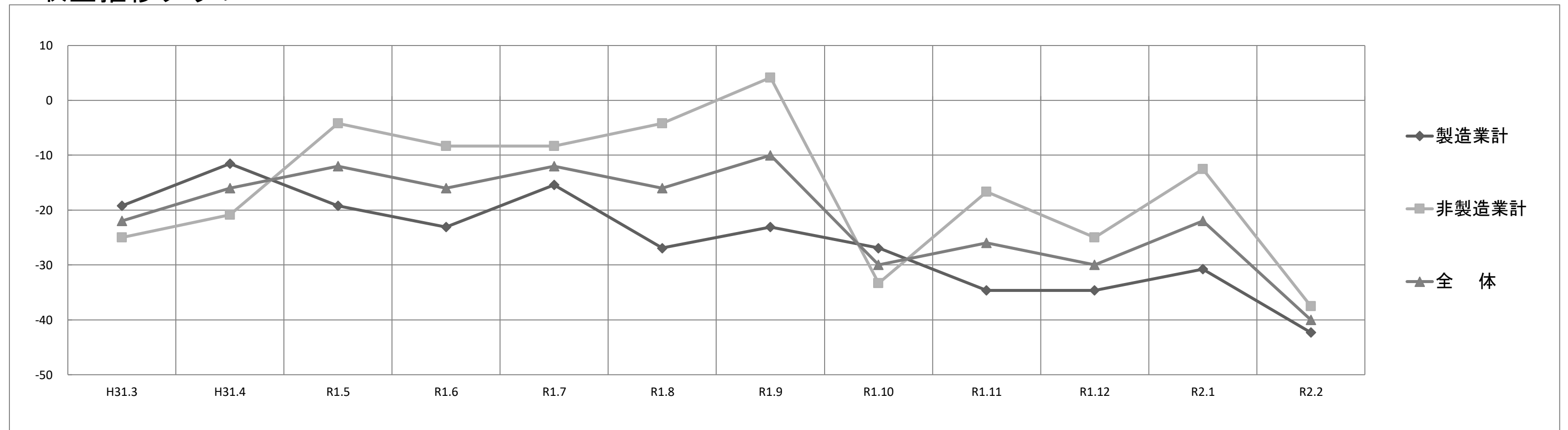
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3
卸売業	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5
全体	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0

### 《収益推移グラフ》

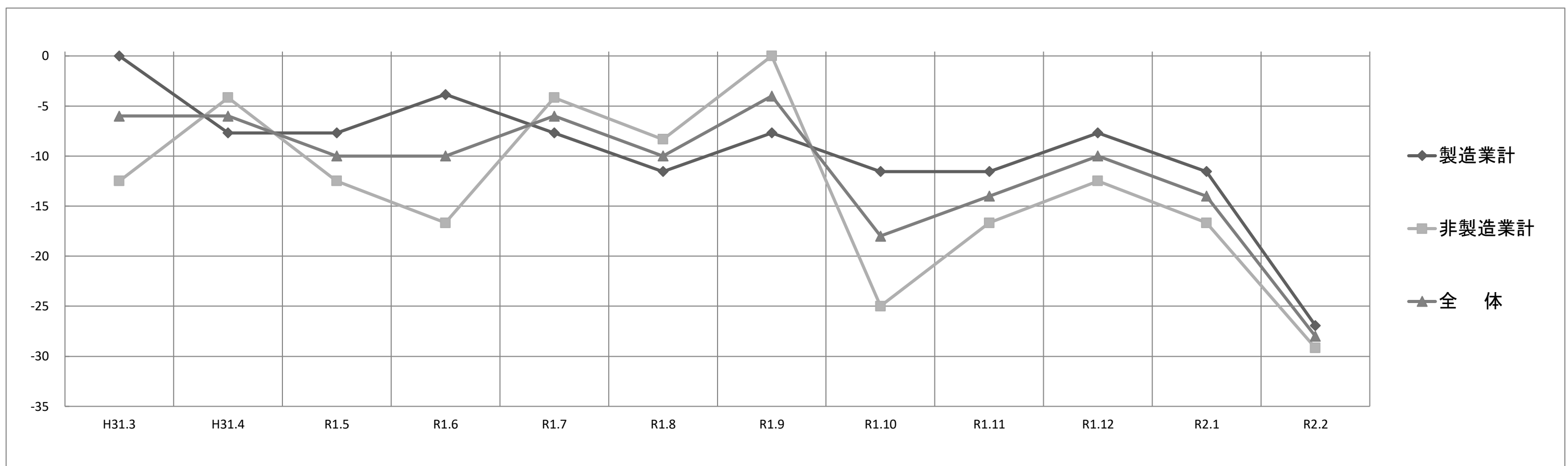


## D I 値推移表 (H31.3月 ~ R2.2月期)

### ≪資金繰りの推移≫

前年同月比	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2
食料品製造業	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0
製造業計	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9
卸売業	▲ 25.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2
全体	▲ 6.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0

### ≪資金繰り推移グラフ≫



### ≪景況の推移≫

前年同月比	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2
食料品製造業	16.7	16.7	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0
卸売業	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0
建設業	0.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0
全体	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0

### ≪景況推移グラフ≫

